

基本計画の体系	基本目標 2 地域とともにある学校づくりの推進																
	施策 1 家庭・地域との連携・協働の推進																
	1 家庭・地域と一体となった学校運営の推進																
	(4) 地域と学校をつなぐ人材の発掘・育成に努めるとともに、家庭・地域・学校が連携・協働して行う活動の実施やその運営を担う組織づくりを促進します。																
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input checked="" type="checkbox"/>教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他 ()																
事業名	地域学校協働活動の推進	担当課	学校再編・地域連携課														
事業概要(目的等)	地域と学校をつなぐパイプ役として、市立学校に地域コーディネーターを配置し、学校運営協議会で協議した内容をもとに、地域と学校が連携・協働して、「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える取組である「地域学校協働活動」を推進する。																
取組実績	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コーディネーターの配置を市立小・中学校、義務教育学校および高等学校27校・1園計17名へ拡充したほか、「地域学校協働活動連絡会議」を設置し、各地域コーディネーターの活動に係る情報交換や本市の地域学校協働活動の今後の方向性等について検討を行った。 <p>(会議開催実績)</p> <p>令和5年5月31日(水) 行政説明, 活動発表 令和5年12月18日(月) 行政説明, 意見交流(今後の方向性等に係る検討) 令和6年2月27日(火) 意見交流(今後の方向性等に係る検討)</p> <p>【過去5年間の推移】 地域学校協働活動連絡会議開催回数 (単位:回)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域学校協働活動連絡会議開催回数</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	地域学校協働活動連絡会議開催回数	—	3	2	3	3
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5												
地域学校協働活動連絡会議開催回数	—	3	2	3	3												
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域コーディネーターが地域と学校の連絡調整等を行い、地域人材を活用した授業の実施やボランティアの募集など、各配置校のニーズを踏まえながら、地域と学校が連携・協働した活動を行うことができた。 「地域学校協働活動連絡会議」の開催により、情報交換を通して、地域コーディネーター間の連携強化につながったほか、今後の方向性について、各地域の実情を踏まえた協議を行うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コーディネーター配置の拡充に伴い、地域コーディネーター間のつながりをより深め、情報交換をしやすい体制を構築する必要がある。 地域と学校をつなぐパイプ役となる地域人材を確保・育成していく必要がある。 																
評価	○	進捗	成果	課題													
		予定どおり	成果が十分	課題はない(ほとんどない)													
	✓	概ね予定どおり	✓ 成果が一定程度	✓	課題は小さい												
		やや遅れ	成果が不十分		課題はやや大きい												
		遅れ	成果が見られない		課題は大きい												
今年度の状況	拡充	地域と学校のパイプ役となる地域コーディネーターの増員により取組を拡充し、地域学校協働活動を推進する。															

基本計画の体系	基本目標 2 地域とともにある学校づくりの推進																
	施策 3 学校間の連携・接続																
	1 学校間の縦の連携・接続																
	(3)教育上特別な配慮を必要とする子どもに関する個別の教育支援計画などを学校間で円滑に引き継ぎます。																
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input type="checkbox"/> 教育行政執行方針 <input checked="" type="checkbox"/> その他（学校教育指導資料）																
事業名	はこだて子どもサポートシートの活用の推進	担当課	教育指導課，教育センター														
事業概要（目的等）	児童生徒の早期からの一貫した支援の実現を図るため，教育上特別な配慮を要する児童生徒の支援について，「はこだて子どもサポートシート」（本市における個別の教育支援計画および個別の指導計画）の活用を促進し，校種間の確実な引継ぎを行う。																
取組実績	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育巡回指導員が巡回相談を行う際には，サポートシートの活用について助言を行うなど，活用の促進を図った。 ・北海道教育センターの各種研修会や指導主事による訪問研修の際に，サポートシートの作成・活用による組織的な支援体制の構築や，通常の学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても，必要に応じてサポートシートを作成・活用して情報共有を行うことが重要であることについて，助言等を行った。 ・特別支援学級に在籍している全ての第6学年児童のサポートシートを函館市北海道教育センター経由で進学先の中学校へ送付した。 ・函館市特別支援教育推進協議会において，「はこだて子どもサポートシート」の活用の在り方について御意見をいただくとともに，切れ目ない支援体制の構築に努めた。 <p>【過去5年間の推移】 教育上特別な配慮を要する児童生徒の割合（単位：％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1 (H31)</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒の割合</td> <td>5.1</td> <td>4.9</td> <td>6.0</td> <td>6.4</td> <td>6.4</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	児童生徒の割合	5.1	4.9	6.0	6.4	6.4
区分	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5												
児童生徒の割合	5.1	4.9	6.0	6.4	6.4												
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導を行っている全ての児童生徒や特別支援学級に在籍している全ての児童分の「はこだて子どもサポートシート」を作成し，学校間や小・中学校間の継続した支援の充実が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて子どもサポートシート」の内容について，必要に応じて見直すほか，活用に向けて，さらなる工夫や関係機関への周知が必要である。 																
評価	◎	進 捗		成 果		課 題											
✓		予定どおり	✓	成果が十分		課題はない（ほとんどない）											
		概ね予定どおり		成果が一定程度	✓	課題は小さい											
		やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい											
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい												
今年度の状況	継続		函館市特別支援教育推進協議会で出された意見を参考にしながら，「はこだて子どもサポートシート」のよりよい活用方法について検討していく。														

